

保護者ならびに関係者の皆様

藤沢市立長後中学校
校長 川崎 武晴

2022年度 藤沢市立長後中学校 学校評価の結果と次年度に向けて

早春の候、保護者ならびに関係者のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、学校評価につきましては、お忙しい中ご協力いただき感謝申し上げます。今年度もインターネットでの回答を実施し、回答率72%で多くの保護者の方にご回答をいただきました。また、学校評価の結果を受け、学校関係者評価委員会を開催し、教職員とは異なる立場の方々の視点からのご意見をいただきました。

本校としてもこの結果を真摯に受け止め、より良い学校づくりを目指して組織的・継続的な改善を図っていきたくと考えています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

1 生徒全体集計

A 肯定的な回答（そう思う・やや思う）が高い項目

- ① あなたは、学校で自ら進んで授業・行事・部活動等に参加している（94.6%）
- ⑥ 先生は、基礎・基本がわかるように授業してくれる（94.6%）
- ② 先生は、チームになって色々なことを教えてくれる（94.5%）
- ⑧ 先生は、最後まであきらめないで取り組むことを教えてくれる（94.2%）
- ④ あなたは、礼儀正しく、あいさつができています（92%）

B 経年変化

経年変化では、ほとんどの項目で肯定的な回答が高くなっている。今後も学校教育目標の具現化に向け、一人ひとりの生徒に基づいた学習指導の工夫・改善、一人ひとりの生徒に対する丁寧な指導・支援の充実を図っていく。

C 考察

すべての項目において、肯定的な回答が8割以上と非常に高く、それは落ち着いた学校生活を送れていることの表れであるといえる。また、教職員への信頼も高く生徒と教師の良好な関係性と信頼関係の構築がみられる。

授業においても、肯定的な回答が非常に高く、少人数クラスやチームティーチングを効果的に活用した成果、校内研究の成果が現れていると言えるだろう。

しかし「⑨先生は、楽しく、よくわかる授業をしてくれる」への肯定的な回答がわずかな割合ではあるが下がっている。これに関しては真摯に受け止め、生徒にとって「わかった」という実感のある授業・より充実した授業が行えるように取り組んでいかなければならないと考える。

学校全体でいじめのない学校に向けて取り組んでいるが、その評価として「⑬学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努力している」の項目は91%と高い。しかし「そうは思わない」9%の生徒もいる。また、「⑭信頼できる先生がいる」という項目に対しても、わずかではあるが肯定的な回答をする生徒の割合が下がっている。学校生活において不安があった時に、安心して相談できる体制を整え、生徒の小さな変化にも気づいて支援できる

ような職員集団を目指したい。

2 保護者全体集計

A 肯定的な回答（そう思う・やや思う）が高い項目

- ⑤ 学校は、美化活動をすすめ、きれいである（96.7%）
- ⑥ 学校は、教育環境の整備に努め安全である（95.7%）
- ④ 教職員は、協力して教育活動をしている（93%）
- ⑦ 子どもたちは、礼儀正しく、あいさつができています（92.5%）
- ⑭ 先生方は、子どもたちのことについて、保護者の悩みや相談に応じてくれる（92%）

B 経年変化

コロナ禍で閉鎖することの多かった昨年に比べ、少し日常を取り戻してきた今年度は、多くの項目において肯定的な回答の割合が上がった。コロナ以前の状態には到底及ばないものの、授業参観などで学校の様子が伝えられるようになったためと思われる。今後もできる限り情報を公開し、保護者や地域と協力して子どもたちを育てていきたい。

C 考察

本校の環境整備・美化活動への肯定的回答が非常に高く、構内の清掃活動を評価していただいたと言える。古い校舎ではあるが、空調・換気設備が整ったので、安心して授業が受けられるようになった。今後も環境の整備に努めていきたい。

授業については、昨年度と比べると様々な項目で肯定的な回答が多くなった。しかしこれは前述の通り、行事や授業の参観などで学校の様子が少し伝えられるようになったためと考えられる。

今後も「⑮…いろいろな場面で生徒のために工夫改善を行」い、「⑲…子どもたちの良いところを引き出し、伸ば」せるように努力していきたい。

3 保護者自由記述より

プラスの評価として「教科だけでなく、色々な学びをしているなと思います。」「生徒数が少ないせいか、先生との距離が近く、生徒の事をよく把握してくれていると思う。」「親身に個々の子どもたちを見守り、やる気を出させ、良い部分を伸ばそうと関わってくれている。」などのご意見をいただきました。大変にありがたいことです。全校の生徒数が少ない分、授業や部活動で接していない生徒のことでも目に入り耳にとまる機会が多くあります。一人の生徒を多くの目で見守ることで、その生徒の健やかな成長を促せるようにしていきたいと考えます。

改善した方がよいと思われる点については「頭ごなしに怒るような場面が多く、子供が先生達は理不尽だと言っている。」「子供からしか学校の様子を聞かないので、もう少し色々知りたい。」「学習が遅れている子供に対してのケア、補習などの時間を作って欲しい。」などがありました。真摯にうけとめて取り組んでいきたいと考えています。

来年度は授業や行事の参観など、保護者の皆様に来校していただく機会をできるだけ多く設けたいと思っています。また、学校HPや学年だよりの情報だけでは不十分でありましようが、ご家庭での会話のきっかけにさせていただけたらと思います。

4 学校関係者評価委員会より

学校関係者評価委員会では、今回の学校評価の結果について、学校評議員の方、PTA副会長の方々からご意見をいただきました。

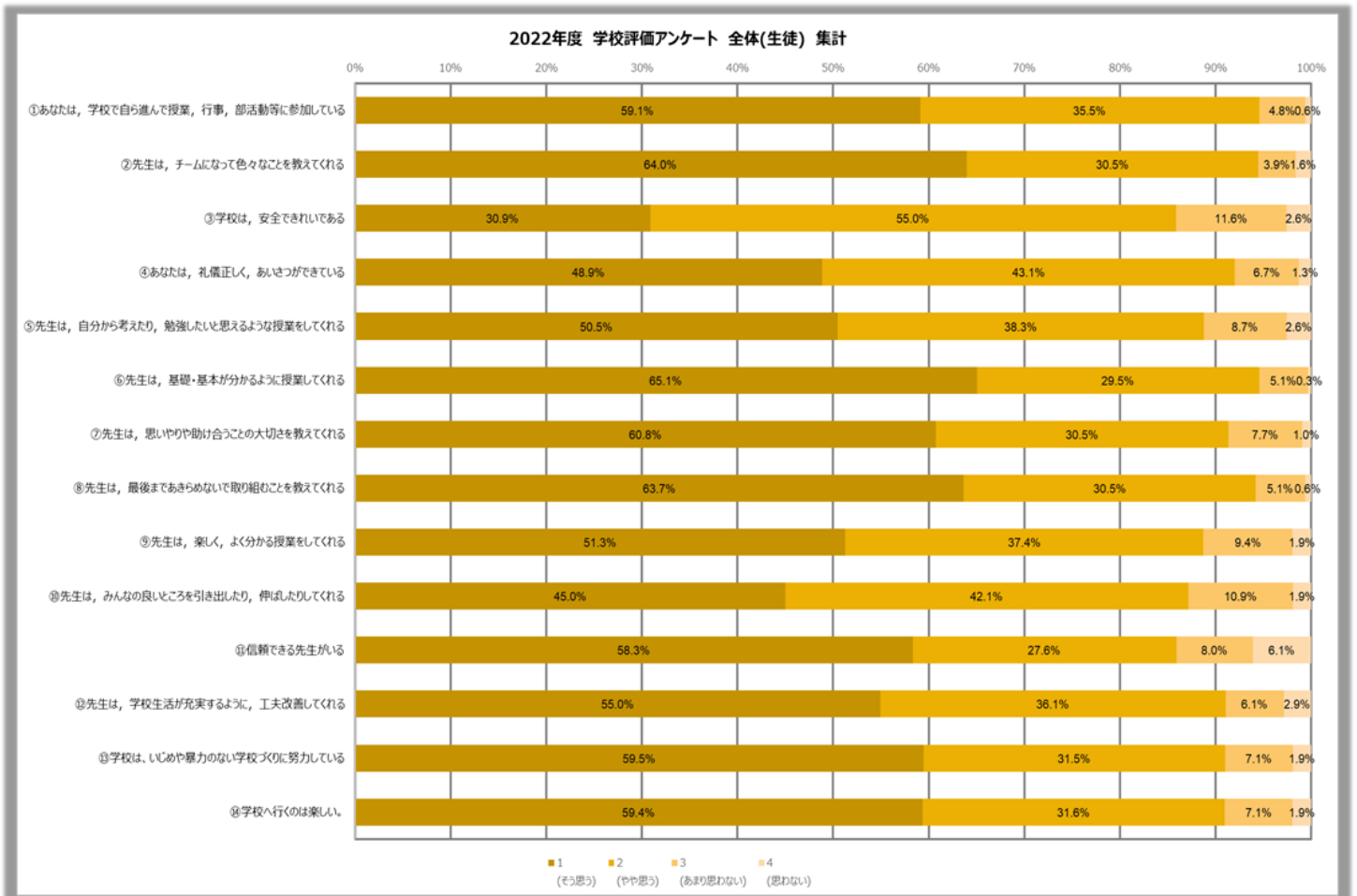
- ・ 生徒集計では、どの項目も肯定的な回答が多く見られる。不満に思う事柄は必ずあるので、よく話を聞いていくことが大切だ。
- ・ 現中3は小6次に、現中2は小5次に休校している。休校期間中は単純に自由時間が増え、学習する意味がわからないまま中学生になり、学習の変化についていけなくなってしまったのかもしれない。
- ・ 生徒の記述にあるように、声を出さない（出せない）生徒の意見を汲み取ることにしっかりと取り組んでほしい。
- ・ 先生と生徒の距離感が良いので、高校でも工夫していきたい。

5 次年度に向けて

今年度も「生徒を主体とした学び合い」を校内研究の柱とし、職員研修を深めてきました。コロナ禍による制限が少し緩まり、行事や授業中のグループ活動など、お互いから学び合う機会を設けることができました。来年度も本校の教育目標である「共に高めあい 学びあう生徒の育成」の具現化に向けて、より一層取り組んでいきたいと考えています。

また、学校評価で頂いた貴重なご意見を参考にしながら学校経営方針における学校像の具現化に向けて、引き続き努力して参ります。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

2022年度 学校評価アンケート [生徒全体]



学校評価アンケート 【保護者全体】

